【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年6月14日(2023.6.14)

【公開番号】特開2023-58493(P2023-58493A)
【公開日】令和5年4月25日(2023.4.25)
【年通号数】公開公報(特許)2023-077
【出願番号】特願2023-2941(P2023-2941)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/1473(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/1473

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月5日(2023.6.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検体センサの送出のためのアセンブリであって、
センサ制御デバイスを含み、該センサ制御デバイスは、
電子機器ハウジングであって、
第１の開口が定められた上面を有するシェルと、
前記シェルと嵌合し、前記第１の開口と位置合わせされる第２の開口を有するマウントと、
を含む電子機器ハウジングと、
前記電子機器ハウジング内に位置決めされたカラーと、
前記カラー上に位置決めされた第１のシール要素と、
前記マウントの前記第２の開口に近接して位置決めされた第２のシール要素と、
前記電子機器ハウジング内に位置決めされ、複数の電子機器モジュールを含む回路基板と、
近位部分及び遠位部分を有する検体センサであって、前記近位部分は、前記回路基板に電気結合し、前記遠位部分は、前記電子機器ハウジングの一部分から延び、かつユーザの皮膚の下まで延びて体液内の検体レベルを検知するように構成された、前記検体センサと、
前記電子機器ハウジングの下側に取り付けられて前記センサ制御デバイスをユーザの皮膚の上に固定するように構成された接着パッチと、
を含むことを特徴とするアセンブリ。
【請求項２】
前記カラーは、前記第１の開口及び前記第２の開口と軸線方向に位置合わせされた中心開口を含むことを特徴とする請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項３】
前記マウントの内面上に定められ、前記マウントの内面から突出する台座を取り囲むチャネルと、
前記カラーの下側に定められ、前記チャネルと嵌合可能な環状リップと、
を更に含むことを特徴とする請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項４】

前記マウントの中で横方向に延びる前記検体センサの前記近位部分の一部分を収容するように前記環状リップの中を通るように定められた溝を更に含むことを特徴とする請求項３に記載のアセンブリ。

【請求項５】

前記チャネルの場所で前記カラーを前記マウントに固定して密封するために前記チャネル内に設けられた接着剤を更に含み、前記接着剤が前記溝の場所で前記検体センサの周りを密封することを特徴とする請求項４に記載のアセンブリ。

【請求項６】

前記カラーの上面上に定められたカラーチャネルと、

前記シェルの内面上に定められ、前記カラーチャネルと嵌合可能な環状リッジと、

前記シェルを前記カラーに固定して密封するために前記カラーチャネル内に設けられた接着剤と、

を更に含むことを特徴とする請求項４に記載のアセンブリ。

【請求項７】

尖鋭体を含む尖鋭体ハブであって、前記第１のシール要素に密封的に係合するように構成された前記尖鋭体ハブと、

第１の端部、第２の端部、及び内側チャンバを有するセンサキャップであって、前記第１の端部は前記尖鋭体ハブに取外し可能に結合され、前記第２の端部は係合特徴部を含み、前記内側チャンバは前記検体センサの前記遠位部分の少なくとも一部分を受け入れる、前記センサキャップと、

前記検体センサの送出のためのアプリケータであって、

アプリケータハウジングと、

前記センサ制御デバイスを前記アプリケータハウジング内で解除可能に固定するように構成されたセンサキャリアと、

前記アプリケータハウジングに取外し可能に結合された近位端部を有するアプリケータキャップであって、前記センサキャップの前記第２の端部の前記係合特徴部と解除可能に嵌合するように構成された前記アプリケータキャップと、

を含む前記アプリケータと、

を更に含むことを特徴とする請求項１に記載のアセンブリ。

【請求項８】

前記尖鋭体ハブは、前記第１の開口及び前記第２の開口を通って延びるように構成された嵌合部材を更に含み、前記尖鋭体ハブは、前記マウントの下側から遠位に延びるように更に構成され、前記センサキャップの前記第１の端部は、前記嵌合部材に取外し可能に結合されることを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。

【請求項９】

前記第２のシール要素は、前記センサキャップの前記第１の端部上にオーバーモールドされることを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。

【請求項１０】

前記第１のシール要素及び前記第２のシール要素は、ゴム材料を含むことを特徴とする請求項９に記載のアセンブリ。

【請求項１１】

前記検体センサの前記近位部分は、前記回路基板と電気結合するように構成された複数の電気接点を含む平坦な面を有していることを特徴とする請求項１に記載のアセンブリ。

【請求項１２】

前記アプリケータキャップの遠位部分に位置決めされたガス透過性シールを更に含むことを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。

【請求項１３】

前記第２の開口で前記マウントの下側上に定められた１又は２以上のポケットと、

前記センサキャップの前記第１の端部上に定められ、前記センサキャップが前記尖鋭体ハブに結合されたときに前記１又は２以上のポケットの中に受け入れ可能な１又は２以上

の突出部と、
　を更に含むことを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。
【請求項１４】
　前記第１のシール要素は、前記シェルが前記マウントに結合されているときに前記第１の開口の中を少なくとも部分的に通って延びることを特徴とする請求項１に記載のアセンブリ。
【請求項１５】
　前記センサキャップは、前記センサキャップの前記第２の端部に位置決めされた弾性プラグを含むことを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。
【請求項１６】
　前記センサキャップは、前記センサキャップの前記第２の端部に位置決めされた乾燥剤キャップを含むことを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。
【請求項１７】
　前記乾燥剤キャップは、前記センサキャップの前記係合特徴部を定めることを特徴とする請求項１６に記載のアセンブリ。
【請求項１８】
　前記乾燥剤キャップは、弾性プラグを含むことを特徴とする請求項１６に記載のアセンブリ。
【請求項１９】
　前記アプリケータキャップは、前記センサキャップの前記係合特徴部を受け入れるように構成されたキャップポストを更に含むことを特徴とする請求項７に記載のアセンブリ。